



2018年度グッドデザイン賞受賞

「Brillia THE TOWER TOKYO YAESU AVENUE」(集合住宅)

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：野村 均）は、「Brillia THE TOWER TOKYO YAESU AVENUE」（ブリリア ザ タワー トウキョウ ヤエスアベニュー）について、2018年度グッドデザイン賞（公益財団法人日本デザイン振興会主催）を受賞しましたので、お知らせします。

【Brillia THE TOWER TOKYO YAESU AVENUE】（東京都中央区）

本物件は、2017年10月に竣工した地上30階建・総戸数387戸の超高層免震住宅です。国家戦略特区として再開発の進む「東京」駅の八重洲口から、メインストリートである八重洲通りを真っすぐ、徒歩16分の場所に位置します。「超都心立地」というエリアであり、社会構造の変化に伴って都心居住の流れが進む昨今、住環境の進化が一層求められる地域になります。

そのような背景の中、本物件は敷地の50%のスペースを周囲に開放し、「お住まいの方・地域の皆様・行き交う人々のための大きな公開空地」をデザインしました。

具体的には、マンションにお住まいの方や街を歩き交う人々が自然と憩えるよう、住宅を取り囲む全方位に緑・水・広場を大きく整備しました。さらに、災害時の地域互助に貢献すべく、公開空地沿いに地域用の防災倉庫や集会室も設置。また公開空地の照明についても、地域の夜間の安心・安全に寄与できるようなライティング計画を採用しました。さらに、公開空地やマンション共用部の意匠設計においては、かつての屋敷町・越前堀の風景をオマージュ。城郭の石垣や川の流れをモチーフとしたデザインを随所にちりばめることで、地域の歴史を後世へ向けて保存・再生することも意識しました。

これらの取り組みにより、東京駅徒歩圏の超都心立地に潤いある住環境を創出し、「新たな都心生活のありかた」を提案できる集合住宅を目指しました。



(建物外観／エントランスホール／エントランス／公開空地)

<審査委員コメント>

「どれほどの中心市街地であっても、人が暮らす場所として都市はあるべきである。その意味では、これは従来、居住エリアとみなされてこなかった東京駅徒歩圏という、まさしく超都心のプロジェクトである。タワーの足元の丁寧にデザインされたオープンスペース、それに加えて、端正な外観のデザインがあいまって、超都心という場所に、望ましい住空間の在り方と、地域との共生の形を示すものとして評価できる。」

【Brillia THE TOWER TOKYO YAESU AVENUE 概要】

所在地：東京都中央区新川二丁目10番1

交通：JR「東京」駅徒歩16分、JR京葉線「八丁堀」駅徒歩1分
東京メトロ日比谷線・東西線「茅場町」駅徒歩9分

総戸数：387戸

専有面積：40.93㎡～120.08㎡(トランクルーム面積0.30㎡～1.34㎡含む)

間取り：1LDK～3LDK

建物階数：地下1階・地上30階建（30階部分は階段室・ELV機械室）

事業主：東京建物株式会社 三菱地所レジデンス株式会社

設計：三井住友建設株式会社 一級建築士事務所

施工：三井住友建設株式会社 東京建築支店

竣工：2017年10月

以上